

家庭養育推進自治体モデル事業 報告会

～自治体と民間の連携による5年間の取り組みの成果と課題～

日本財団と山梨県・大分県・福岡市が2021年より協定を結び、早稲田大学社会的養育研究所との協力のもと推進してきた「家庭養育推進自治体モデル事業」について、自治体行政と民間団体が一体となって取り組んできた5年間の成果や課題について報告会を行います。

家庭養育推進自治体モデル事業とは

子どもたちが安全安心であたたかい家庭において育つことを目指し、日本財団と自治体が協定を結び、3歳未満の里親委託率75%の達成や、里親登録数の増加、パーマネンシー保障、在宅家庭支援の拡充等に取り組むものです。日本財団が民間団体に助成金を提供することで、フォスタリング機関・里親支援センターによる里親リクルートや里親支援、乳幼児緊急里親事業、児童家庭支援センターの親子支援、乳児院の多機能化等が実施されてきました。また、研修や成果検証等サポートを早稲田大学社会的養育研究所が担当しています。

日時

2026年 2月24日(火) 13時30分～17時30分

13時 ▶ 開場・受付開始 / 18時～19時 ▶ 懇親会 * 詳細は裏面をご覧ください

会場

日本財団ビル2階 大会議室 オンライン・アーカイブ配信あり

東京都港区赤坂1丁目2番2号

対象

家庭養育推進に関心のある行政関係者
社会的養育に関わる民間団体関係者等

定員

150名 / オンライン500名

参加費無料

申込締切

2月19日(木)

午前10時まで

お申し込み方法

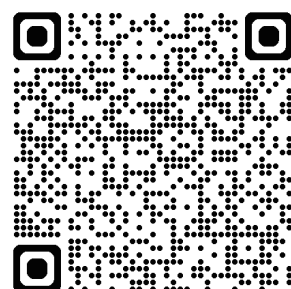
下記Googleフォームまたは右記2次元コードより、事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/SAEXoNMTKJVPF2YHA>

Googleフォームでの送信が難しい場合は、〈waseda.ricsc@gmail.com〉まで、

【氏名・ご所属・ご職業・zoomリンク等をお送りするメールアドレス・

参加方法(現地・オンライン・アーカイブ)・懇親会の参加希望】を明記のうえ、メールでお申し込みください。



報告会内容

【第1部】 家庭養育推進自治体モデル事業報告

■ 事業概要説明：日本財団

■ モデル自治体による取り組み報告：山梨県・大分県・福岡市

- ー 各自治体の行政担当者および民間団体代表者による取り組みや成果や課題報告
- ー 早稲田大学社会的養育研究所研究員による調査研究・実践等報告

■ アドバイザー：藤林 武史（西日本子ども研修センターあかし センター長）

河野 洋子（大分大学福祉健康科学部社会福祉実践コース 講師）

【第2部】 パネルディスカッション

「家庭養育推進自治体モデル事業の成果と課題、今後の展望」

■ テーマ1：乳幼児の社会的養護

乳幼児緊急里親制度、乳幼児総合支援センターの取り組み、ならびに3歳未満児の里親委託率の現状など、乳幼児の家庭養育推進について、各自治体報告者によるディスカッションを行います。

コーディネーター：高橋 恵里子（日本財団公益事業部 子ども事業本部長）

コメンテーター：上鹿渡 和宏（早稲田大学人間科学学術院教授、社会的養育研究所所長）

藤林 武史

■ テーマ2：自治体モデル事業による地域の社会的養護の変化

家庭養育推進によってもたらされた自治体の社会的養護の変化や官民協働の取り組みについて各自治体報告者によるディスカッションを行います。

コーディネーター：上鹿渡 和宏

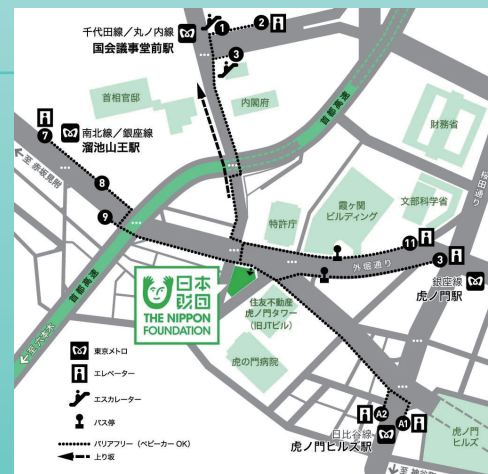
コメンテーター：藤林 武史・高橋 恵里子

【懇親会】 会場：日本財団ビル8階 参加費無料

※ご参加に際し、特別な配慮（情報保障、場内誘導、座席確保等）が必要な場合は、お早めに事前のご連絡をお願いいたします。
ご相談のうえ、できる限りの対応を検討させていただきます。

アクセス

- ・東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より溜池山王方面に直進。徒歩5分。
- ・東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2番出口より溜池山王方面に直進。
住友不動産虎ノ門タワー
- ・東京メトロ 南北線・銀座線「溜池山王駅」9番出口より首都高速のガード下の
信号を渡り直進。徒歩5分。
- ・東京メトロ丸の内線・千代田線「国会議事堂前駅」3番出口より首相官邸前を
左方向に直進。徒歩5分。



【お問合せ】 早稲田大学社会的養育研究所（担当：荒川） E-mail <waseda.ricsc@gmail.com>